

防災だより

第24号

小田急金森泉自治会 自主防災隊

2024年8月4日発行

6月30日・各班集合場所での災害時初動訓練報告

当日は多数ご参加頂き、誠に有難うございました。訓練目的と成果（終了後アンケート含む）、お伝えしたいことなどを報告いたします。

当自治会には、大地震発生時の初動ルールがあります！

ルールは「大地震発生時の行動マニュアル（震度5強以上）」としてあり、その周知浸透が今回の訓練目的でした。（2017年3月会員配付・自治会ホームページ掲載・A4で2頁分）

このマニュアル配付後、2・4・12～16班と順次周知訓練し浸透を図っていましたが、コロナ禍により中断されました。今回やっと再開ができ、すべての班で訓練ができました。

参加できなかった方々も、このルールを知って適切な行動につながるよう願っています。

▼わさび田公園や付近が班集合場所の参加者への説明風景



初動のポイントは、班単位での安否確認と安全確保！

大地震時は行政も被災者で機能せず、初動は自分・家族・近所・地域が協力対処します。

津波予想地では、「いち早く各自でんでんばらばらに高台へ逃げろ」ですが、ここでは津波はなく、自分と家族を守って無事なら、各班の集合場所に集まり、隣近所・班の人などが安否確認し合い、安全確保、必要に応じ助け・消火活動・避難などをします。

今回訓練は、この方針周知のため最少のことを行いましたが、実際の災害時に必要な様々な対処（裏面アンケート結果参照）などは、別途訓練などで周知・習熟したいと思います。

円滑な初動のため、皆さんへ2つの日頃のお願い！

- 家や室内の安全確保（耐震、家具転倒やガラス飛散防止など）で、地震発生時にケガをしない備えです。ケガが無ければ引続き必要な行動に移れ、助ける側の人にもなれます！
- 近所付き合いでお互いの存在を知ってください。歳格好・顔・元気度などを知っているこ

とが大切で、日頃の挨拶でも十分役立ちます。存在を知らないと助けてもらえません！
自治会とは何かしてもらう集まりでなく、誰でも自分が皆にしてあげられる集まりです。ケガをしていないだけで皆のためになり、2つのお願い達成は地域の防災底力でもあります。

対処行動の注意点は二次災害防止で、訓練不可欠！

必要に応じて助けたり、消火活動などするとき、一番気を付けるのが二次災害防止です。
 ▶歩行補助中に転ぶ ▶搬送中の人を落とす ▶消火中に煙に巻かれた ▶危険な所に身を置き余震で下敷きになった等々・・・助ける人がケガしたり、ケガ人に更にダメージを与えたらダメです。複数の人で安全確保しながら慎重に対処する必要があり、訓練が不可欠です。

今回訓練の大まかな内容と参加人数

- 6月30日（日）想定地震発生時刻を9時～、10時～、10時半～の3グループに分け実施
- 自助の部分 ⇨ 自身を守る、家族安全確保、火元やブレーカー対処、無事ですハンカチ出す
- 近助共助部分 ⇨ 班集合場所で、班長指示で安否確認と安全確保、災害対策本部への状況連絡

班	参加数	班	参加数	班	参加数	班	参加数	合計
1	10	5	13	9	6	13	9	153名 本部除く
2	14	6	10	10	12	14	7	
3	13	7	5	11	6	15	11	
4	14	8	9	12	9	16	5	

当日アンケート結果（回答数 134） ⇨ これを踏まえ今後の取組みの参考にします

1. 大地震発生時の行動マニュアルを知っていたか？ ★はい 77% ★いいえ 21%
2. 班の集合場所を知っていたか？ ★はい 90% ★いいえ 7%
3. 班の集合場所に集まり、班内の安否確認や安全確保をすること
 ★必要 84% ★不要 1% ★どちらとも言えない 8%
4. 実際の災害初動時は、自分達で対処しなければならないが？（複数回答）
 ★何とか出来そう 28% ★何するか知りたい 16% ★出来る事出来ない事を知りたい 63%
 ★ケガしない備えは出来そう 16% ★体力や年齢などで自分は出来ない 11%
5. 年度初頭に班集合場所に集まり、会費集金や家族一覧更新などすること
 ★すでに実施中 74% ★今後導入がよい 11% ★必要ない 1%
6. 今後希望する住民訓練（複数回答 注：昨年訓練時と同じ質問で、昨年より全体的に数値増）
 ★消火器操作 38% ★スタンドパイプ操作 26% ★救出方法 23% ★応急手当 34%
 ★要支援者への対処方法 31% ★避難と誘導 36% ★人の搬送方法 11%
 ★トランシーバー通信 8% ★班集合場所の初動内容充実 22% ★避難広場の設営 31%

当地から犠牲者を出さぬよう、今後も皆さんと取組みましょう！